



平成 21 年 7 月 27 日

各 位

会社名 テ ラ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 矢崎 雄一郎
(コード番号：2191)
問合せ先 取締役管理本部長 山本 龍平
T E L 0 3 - 5 3 1 2 - 0 4 1 7

平成 21 年 12 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 6 月 11 日に公表した平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）業績予想につき、第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり、上方修正いたします。

記

1. 平成 21 年 12 月期 第 2 四半期業績予想の修正等

第 2 四半期累計期間（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成 21 年 6 月 11 日発表）	444	109	80	44	3 円 78 銭
今回発表予想（B）	461	134	105	59	5 円 5 銭
増減額（B－A）	16	24	25	14	—
増減率（％）	3.7％	22.6％	31.4％	33.6％	—
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 20 年 12 月期第 2 四半期）	224	32	32	17	1 円 74 銭

注）1 株当たり四半期純利益につきましては、新株予約権の権利行使により、発行済株式総数の増加に伴い、発行済株式総数 11,732,000 株で算出しております。

2. 第2四半期累計期間業績予想の修正理由

売上高につきましては、平成21年6月11日公表しました「平成21年12月期 第2四半期累計期間の業績予想修正に関するお知らせ」の開示後、東京都・京都府で開催いたしました「最先端がん治療セミナー」が活況であったことならびに、各種メディアに当社が取り上げられたことが要因となり各契約医療機関での治療数が前回予想を21件上回り前回予想比16百万円増となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上増加及び売上原価の経費削減により営業総利益が17百万円増加し、「最先端がん治療セミナー」の活況及び各種メディアの露出度が高まった結果、患者様に対する情報提供活動が効率良く展開することが可能になり、広告宣伝費等の支出を抑えた結果、前回予想比24百万円増となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加より25百万円増、四半期純利益につきましては、上記の理由により前回予想比14百万円増となる見込みでございます。

その結果、前回発表の予想を上回る見通しになったため、第2四半期累計期間の売上高461百万円(3.7%増)、営業利益134百万円(22.6%増)、経常利益105百万円(31.4%)増、四半期純利益59百万円(33.6%)増となりそれぞれ上方修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、今後開業する契約医療機関の売上動向を精査し、今回業績修正は行いませんが、業績予想の修正が必要となった時点で、速やかに開示をさせていただくものとし、業績開示等の適時開示により便宜を図ってまいりたい所存です。

なお、「平成21年12月期 第2四半期決算短信」の開示は、平成21年7月30日を予定しております。

(業績予想に関する注意事項)

本資料に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上